

令和3年度第3回庁議 議事要旨(記録)

開催日 令和3年4月13日 (火曜日)
開催場所 市議会 委員会室
開始時間 午前 10時00分
終了時間 午前 10時45分

庁議内容

- 付 議
- 1 国立市新型コロナウイルスワクチン接種実施計画(案)について
 - 2 (仮)新たな福祉交通システム構築プロジェクトチームについて(案)

出席者(15名)

庁議メンバー
(13名)

市長
副市長
教育長
政策経営部長
行政管理部長
健康福祉部長
地域包括ケア・健康づくり推進担当部長

生活環境部長
都市整備部長
都市整備部参事
会計管理者
議会事務局長

生涯学習・文化・スポーツ推進担当部長

代理出席者
(2名)

児童青少年課長(子ども家庭部長代理)
教育総務課長(教育次長代理)

【付 議】

1. 国立市新型コロナウイルスワクチン接種実施計画(案)について
・説明員: 新型コロナウイルスワクチン接種対策室長
(内容は別紙「庁議付議事案 審議要旨」のとおり)
2. (仮)新たな福祉交通システム構築プロジェクトチームについて(案)
・説明員: 道路交通課長
(内容は別紙「庁議付議事案 審議要旨」のとおり)

庁議付議事案 審議要旨（記録）（令和3年4月13日開催）

付議事案名：国立市新型コロナウイルスワクチン接種実施計画(案)について

提案課 健康福祉部 新型コロナウイルスワクチン接種対策室

議事要旨公開・時限非公開の別

- 決裁後公開します (をチェックした場合、その理由)
- (庁議で集約)後公開します

1. 付議事案の概要

1. 付議目的（理由）

国立市新型コロナウイルスワクチン接種実施計画（案）について、庁内合意を図るために付議するものである。

2. 経過及び現状

令和 2年12月 9日 予防接種法改正

令和 3年 1月12日 新型コロナウイルスワクチン接種対策室設置

3. 具体的な措置

庁議において庁内合意後、決裁にて計画決定する。以後、計画に基づきワクチン接種を開始する。

2. 集約

原案の内容で確認し、事務を行っていく。

3. 主な意見・質疑・確認事項等

【主な意見・質疑等】

- ・各部からの応援体制についての調整は職員課で行うのか。
今後職員課と協議し、進めていく。
- ・保健師の応援について、看護師の代替は難しいと考える。
保健師の役割については整理するが、看護師の代替ということでは考えていない。
- ・接種は予約制だが、予約せずに会場に来る人がいると想定される。予約が必須である旨の周知方法について工夫の余地はあるか。
市報、HP等以外の手法についても検討を行う。
- ・副反応についての情報は何かあるか。
現在の情報では、高齢者比べ若い世代に発熱等の副反応が多いというデータがあるが、引き続き注視していく。
- ・会場となるくにたち市民総合体育館はいつから使用するのか。
4月下旬から設営や事前のシミュレーションを行い、順次接種を実施していく。

庁議付議事案 審議要旨（記録）（令和3年4月13日開催）

付議事案名：新たな福祉交通システム構築プロジェクトチームについて(案)

提案課 都市整備部 道路交通課

議事要旨公開・時限非公開の別

- 決裁後公開します (をチェックした場合、その理由)
- (庁議で集約)後公開します

1. 付議事案の概要

1. 付議目的（理由）

地域公共交通では対応が難しい人を対象に、新たな福祉交通システムの構築及び既存の移動支援について施策横断的に議論を行い、市の基本方針策定に向けた課題の抽出とその対策を整理するための検討及び提言を行うプロジェクトチームの発足について、庁内の合意形成を図るために付議するものである。

2. 経過及び現状

2025年、2040年問題など今後、更に進む高齢化に伴う移動の確保は必須であるが、現状の福祉交通施策だけでは十分とは言えない。また、しょうがい児や医療的ケア児の学校から学童までの移送などの課題を解決していく必要がある。

3. 具体的な措置

庁議にて合意後に、要綱を制定し、メンバーを決定して検討を行っていく。関係機関や関係団体等との意見交換を経て、検討結果を報告書としてまとめ、庁議にて報告し、案を議会に報告した後に、(仮称)国立市福祉交通支援基本方針の策定に着手する。また、すぐに実施可能な事項については令和4年度予算編成に向けて担当課との調整を行う。

2. 集約

原案の内容で確認し、事務を行っていく。ただし、指示のあった事項については調整する。

3. 主な意見・質疑・確認事項等

【指示事項】

・福祉有償運送運営協議会だけでなく、当事者の意見をよく聞いて検討すること。
・市の補助する事業だけでなく、委託により実施している事業も検討の対象とすること。

【主な意見・質疑等】

・メンバー構成は管理職と一般職が混在しているが、考え方は、実際の所管業務に精通している職員を選んでいる。
・令和4年度予算編成に反映させるものはあるか。
既存事業の見直し等、反映できるものは4年度予算に計上したい。
・このプロジェクトチームの中で調査を新たに行うということか。高齢者の自立度アンケートやフレイル関連のアンケートなど、提供できるデータは提供したい。
現在一橋大学と行っている需要調査のデータ以外に必要があれば、そういったデータも活用していきたい。